

2022年度 学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

学校教育目標	重点目標
<p>新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる (re デザイン:繰り返し描き実現して行く) (教育方針)</p> <p>◇育てたい人間像 ○あきらめない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていける人 ○自然や地域文化を大切にすることを、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人</p> <p>◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』</p>	<p>①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ②あらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、生徒の能力や個性を伸ばすことで、進路希望の実現を図る。 ③生徒会・部活動などの諸活動を積極的に支援し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。 ④地域社会との連携と開かれた学校づくりを推進する。 ⑤「夢に挑戦する学び」、「未来の学校」、「BYOD」への対応を進める。</p>

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

自己評価		学校評議員記入欄	
学習指導	評価	評価	コメント
<p>授業内容の充実</p> <p>【成果と課題】 授業アンケートの結果を見ても授業内容が充実している。生徒も授業に対して積極的に取り組んでいると言える。ICT機器を導入し、各教科の特性を活かした授業が多く展開されている。今後は、タブレットの導入により新たなスタイルの授業展開を模索することが必要とされる。</p> <p>【改善策・向上策】 タブレット導入の授業については、教員間での積極的な意見交換、公開授業を積極的に実施することや他校の実践例の研究を行うことが望ましいと考える。</p>	A	A	○タブレット導入にあたってメリット、デメリットの調査が行われると効果的であると考えます。
<p>家庭学習の習慣</p> <p>【成果と課題】 学校から出された課題はほとんどの生徒は行っている。しかしながら受動的な姿勢が多く見られ、自ら考えて学習方法を身につけていくことが必要とされる。</p> <p>【改善策・向上策】 各教科において、学習方法のベースをしっかりと説明して実践できるような働きかけがさらに必要となる。自ら課題を見つけ解決していく力を、生徒が身につけるような学習指導を行わなければならない。特に、予習復習を習慣づけるためには、授業の終わりにまとめの時間を設け次回何をやるか伝えるなど家庭学習の動機づけを行う等の指導が考えられる。</p>	B	B	○木曾の子供はもっと自信を持つように教えてください。全国で通用します。 ○主体的学習を身につけてもらえる活動に、期待します。
<p>授業・補習内容の充実</p> <p>【成果と課題】 各学科で実施している補習にはほぼ全員の生徒が参加している。各学科に特化した補習が実施されている。3年生については放課後や土曜を利用した補習を実施することで学力の向上に努めている。理数科については土曜授業の影響もあり、放課後補習に重点を置かなければならないのが現状である。日課表や教育課程の見直しが必要となる。</p> <p>【改善策・向上策】 休業中や土曜日の補習については、各教科の特性を活かした内容を十分に検討し実施する必要がある。</p>	B	A	○木曾中時代より進学校でありますので補習に力を入れてくださいませ。 ○補習時間の確保が難しいことが伺えます。
<p>各種資格検定への取り組み</p> <p>【成果と課題】 目標を持ち積極的に資格取得に挑戦する生徒が多く、熱心に学習する姿が見受けられた。資格取得や検定試験に合格することで次の目標に向かう意欲が持たれている。</p> <p>【改善策・向上策】 資格取得学習の充実と改善を図っていきたい。目標を高く持ち毎日の学習が充実したものになるようにしたい。合格したことから自信を持たせ、次の目標に向かわせたい。</p>	A	A	○社会へ出ると資格だけでするので宜しく。 ○資格取得の充実は学校にとってもプラスになるので積極的に取り組んでほしい。

進路指導	評価	評価
進路目標の明確化 【成果と課題】 さまざまな進路情報があふれると同時に、生徒によって必要な情報を精選して生徒へ伝えた。進路ガイダンスや郡内企業説明会など本校独自の取り組みも充実してきた。 学科による特色を生かす進路指導がなされている。	A	A
【改善策・向上策】 学習指導要領の改訂に伴い、キャリア教育の計画が見直された。今後数年にわたる研究が必要である。		
具体的な進路指導 【成果と課題】 学科の特性や、生徒の要望に応じた進路指導が、各学科各学年各クラスごとに行われている。過去の蓄積のうえに、本年度のための指導が工夫され、成果をあげた。 進路指導室や自習室の情報が整理され、明確な目標をもって利用できるようになった。	A	A
【改善策・向上策】 大学入学共通テストは各教科の分析と対策が成果につながった。新教育課程の入試対応の研究が必要である。		
進路の実現 【成果と課題】 生徒一人一人に進路指導がおこなわれ、様々な入試制度を利用しながら、それぞれが望む進路が実現できた。 大学受験については、生徒が質問や相談をしやすい工夫をした。 オープンキャンパスや校外の進路相談会などの参加を勧め、進学先の情報収集の重要性を理解し、進路を選択できた。 企業や自治体などの研究を通して、キャリアプラン	A	A
【改善策・向上策】 多様性が求められるこれからの社会において、高校生活の中で、本校ならではの多様性を学ぶことができるようになる。		
		○総合学校で先生は大変ですが良き指導宜しく願います。 ○様々な進路に対応したガイダンスが重要と実感します。
		○各自の学力に合わせた指導が重要と努力させていることが伺えます。
		○青峰高校の卒業生で大学の先生もいるので是非母校で講演会を実現したいと思います。 ○多様性に対応することが大変であるのではないかと思います。

生徒支援	評価	評価	
生徒の人権意識・自己指導力の育成 【成果と課題】 学校生活アンケートやS S Tを取り組むことで、少しずつではあるが、対人関係のスキルを身に付け、人間関係の構築が図れるようになった。また、授業や部活動、生徒会活動やHRでの主体的に取り組みが多くみられ、生徒自身が律する力が高まった。	B	A	○自己のコントロール力が大変必要と思います。ご努力させていることが伝わります。
【改善策・向上策】 SNSの使用法やS S Tやゲートキーパー講座で学んだことを、さらに日常生活に生かせるよう、働きかけをしていきたい。生徒に考えさせ自己のコントロールできる力や自制心を身に付けられるよう自ら行動に移せるような場面を意識させていきたい。			
社会性の涵養 【成果と課題】 コロナ禍において地域との関わりが減少し、学校内外の培われてきたものを一から構築しなければならなくなってきたため、次年度以降も、主体的に社会と関わりを持つ生徒、社会の一員であるという自覚が持てる生徒を育成していく。	B	B	○コロナ禍で大変苦労した先生生徒ですが負けずに向上策願います。 ○コロナ禍での難しい状況が伺えます。
【改善策・向上策】 社会とのかかわることができる場面には積極的に場の提供をし、モラル・マナーの向上、社会性・協調性の涵養を目指す。また、あらゆる場面が育成の機会であるという認識を全職員が持ち、取り組んでいきたい。			
カウンセリングの充実 【成果と課題】 カウンセリングから問題の背景や要因をつかみ、支援へとつなげることができた。また、カウンセリングからS S Wや外部機関へと支援が広がり、校内では支援が難しい場面にも対応することができた。今年度は職員研修でもスクールカウンセリングについて扱うことで、普段カウンセラーと接する機会がない職員にもカウンセリングについて理解を深めてもらうことができた。	A	A	○コロナ禍の影響もあり、カウンセリングの必要性も高くなるのが伺えます。
【改善策・向上策】 カウンセリングの年間計画立てながら調整をし、必要とする人がカウンセリングを受けられる体制を整えたい。また、生徒・保護者に相談窓口やカウンセラーの紹介などを行い、カウンセリングの存在や利用方法について周知していきたい。			

特別活動	評価	評価	
自主活動の充実と生徒の自立 【成果と課題】 生徒会役員が主体性を持ち、コロナ禍でも生徒や各委員会が参加・活躍する生徒会づくりが目指され、生徒会公式LINEやGoogleFormsを活用した参加型の生徒会運営が行われた。第14回着陸祭では、文化祭実行委員が中軸となり、新しい形式での企画が実現し、生徒の満足度も高い学校行事となった。一方、生徒総会がONLINE等に変ったことにより、生徒の活発な意見交換の減少が課題となる。	A	A	○コロナ禍でも着陸祭が生徒会の工夫が見えてよかったですと思います。 ○意見の出しやすい工夫が求められていると実感しました。
【改善策・向上策】 今年度の中間反省を受け、生徒総会での生徒の意見集約の期間や方法を変えるなど、新生徒会により新たな試みが企画されている。また、全校生徒が参加できるような生徒会企画を年間を通じて設定、発信していくことで、スローガン「進取果敢」のもと全員参加の学校づくりをめざし、生徒が主体的・積極的にかかわる学校行事や活動を促す機運を生み出したい。			
地域を視野に入れた活動 【成果と課題】 PTAの協力を得て、生徒から集めた情報をもとに生徒会主体の地域情報誌の発刊や環境整備、地域講座への参加協力、養護学校との交流などに意欲的に取り組んだ。今年度は文化祭に保護者以外にも地区中学校3年生を招くことができ、地域とのつながりも少しずつ広がりがつつある。一方でコロナ禍以前の地域行事が再開し、参加協力に向け、生徒活動や年間計画における調整等が求められる。	A	A	○よく新聞紙上に青峰高生の記事が出ます。今後もマスコミにはPRしてくださいませ。 ○積極的に地域参加を。
【改善策・向上策】 地域との交流が学校発信や地域依頼のみの一方通行とならないよう、校内の各委員会を交えた地域との情報交換の場をつくり、地域と学校が共有できる年間活動計画の検討が必要と考える。地域情報を広く生徒にも共有し、生徒が主体的に取り組む地域交流や行事参加の機会を推進していくことが、今後の地域と連携した特別活動の発展につながると考える。			

全般	評価	評価
PTA活動の充実・家庭との連携 【成果と課題】 コロナの中、PTA総会および地区PTA懇談会をなんとか開催することができた。 学校環境委員会、学校行事委員会、文化委員会の活動を予定通り実施できた。 生徒会活動の一環としてPTA予算から「木曾Discovery」のパンフレットを作成した。 本会役員のローテーションを見直し修正した。	B	A
【改善策・向上策】 PTA地区懇談会のあり方を再検証して少子化が進む中再編成をする必要がある。参加する教員の数を減らして負担を軽くする方向で話を進めている。		
情報発信 成果と課題】 既存のページ更新については随時実施した。本校関連の新聞記事の掲載数も49件と地域に向けた発進を積極的に行っている。地域の方からも記事について反響がある。 スクールマガジンは、今年度第5号まで発行予定である。また、今年度から王滝小学校にも配布を行っている。	A	A
【改善策・向上策】 ホームページの更新はHTMLの知識、技術を要する。特定の担当者に偏らず更新作業ができるよう、担当者の養成が望まれる。 スクールマガジンは次年度も郡内中学校(一部小学校)の全生徒に配布していきたい。また、発行回数も予算面の課題はあるが、できるだけ数多く発行し、学校および生徒の活動状況を地域の皆様に発信していきたい		
地域との連携・開かれた学校づくり 【成果と課題】 コロナの関係でオンライン授業を行った時期もあったが、昨年度に比べて予定した行事は、実施することができた。その中で、文化祭(蒼陵祭)をはじめ地域の方に昨年より多く来校いただいた。 体験入学については、コロナの拡大により一部日程を変更した。参加者数は、昨年度より多く、郡外、県外からの参加者も増えた。体験入学は体験授業のみにとどまったが、個別の学校見学は15人で郡外及び県外からの参加者はほとんどであった。 本年度、年間通しての授業公開を行ったが参観者数は少なく、情報発信の方法を検討する必要がある。 課題研究発表会およびインテリア科作品展示会は、生徒の学習内容及び成果を保護者の方々に公開する予定である。	B	B
【改善策・向上策】 ホームページ等を通して、さらなる広報活動の充実に努めたい。 公開授業については、実施方法を検討し、発信方法についても工夫していきたい。		
生徒・職員の健康管理 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症予防のため、生徒・保護者向けの通知を出し、職員にも情報共有を行った。グーグルフォームを活用し、毎朝の健康チェックを生徒に記録させるようにした。しかし、入力率はかなり低くなっている。 換気の徹底、清掃時の消毒活動、毎朝の検温が十分でないことが課題である。 職員休養室の利用調査を行った。安全衛生委員会で協議、改善していきたい。	B	B
【改善策・向上策】 生徒保健委員会や生徒会との協力等工夫して、手洗い、検温、消毒等の感染症対策を促していきたい。 グーグルクラスルームを活用し、保健だよりや健康に関する情報をより届けられるようにしたい。		
連絡体制の完備 【成果と課題】 一斉メールにより情報を各家庭に伝える事ができた。	A	A
【改善策・向上策】 一斉メールは登録率100%に向け、継続して登録の呼びかけを行なう。 生徒登録と保護者登録の情報の混在が見られるので、登録方法の案内を工夫する必要がある。		
		○生徒会との意見交換会ができず、PTAとして来年は、また実現させてほしい。 ○地域とのつながりが広がることを願います。
		○地域の皆さんへの発信はとても重要と考えます。
		○郡外、県外の情報発信、(インパクト)のある方法を考えたい。 ○インテリア科の作品展示はとても楽しみです。
		○基本的な感染対策をお願いさせていただきたいと思えます。